

# 「日上市立学校適正配置基本方針（素案）」の修正内容について

## 1 主な指摘事項

### (1) 基本事項について

#### 小中連携強化のための小中学校のグループ化の推進について

- ① 表現が分かりにくい。
- ② 小学校から複数の中学への進学に問題があるとは思わない。
- ③ 子どもたちの9年間を見通す上で、小中学校の連携強化は大切。

### (2) 例外事項について

#### ア 中里小・中学校について

#### 例外とする理由を明確に

「特殊な立地条件から適正規模を確保できる見込みがないため、存続させる」ということが明確になるような表現がよい。

#### イ 施設一体型又は施設隣接型小中学校の整備検討について

#### 小中一貫校の設置について

小中一貫教育を推進するように読み取れるのに、小中一貫校の設置を例外とするのは整合が取れないのではないか。

## 2 修正案（資料 2）

### (1) 指摘事項の修正

分かりにくい記述の多かった「小中学校のグループ化」や「例外事項」については、指摘のあった内容を検討し表現を改めた上で、「5 取組に当たっての留意事項」（P6）にまとめました。

### (2) その他の修正

ア 学校適正配置の必要性について理解を深めていただくため、「1 学校適正配置検討の背景」（P1）の記述を整理したほか、新たに「2 日上市が目指す教育」（P2）、「3 基本方針を策定する目的」（P3）などを加えました。

また、適正規模の確保に伴って期待される効果を例示（P5）しました。

イ 基本方針の核となる「日上市における小中学校の適正規模」について、「小学校は各学年2学級、中学校は各学年3学級」に至る考え方を詳しく記述し、新たに「基準」としました。（P3, 4）

また、検討委員会等で言及の多かった「学級の規模（人数）」についても触れ、少人数教育の充実を目指すことを明記（P4）しました。

以上